

令和5年度 恵那北小学校だより

7月20日号

げんきたっ子



感じて動く

「よく考える子」「やさしい子」「たくましい子」

校長 市川 伸美

「感動とは、感じて動くと書くんだなあ」 — 詩人 相田みつをさんの詩です。

1学期が終了しました。この4か月の中には、子供たちの“感じて動く”姿がたくさんありました。



手をつないで歩く
1年生と6年生

5月27日に実施した「げんきたなんじゃもんじゃウォーキング」では、3km余りの坂道を、なかよしグループ（1～6年生が入ったグループ）で支え合って登りきることができました。低学年の子が疲れた顔をしていると、高学年の子が優しく励まし、手をつないで歩きました。低学年の子は登り切れた喜びでいっぱいになりました。仲間と関わることで、相手を思いやるやさしい心や、最後までやり切ろうと努力するたくましい心を育てています。また今年度は、なかよし遊びも活発に行われるようになりました。リーダーは、全学年の子が楽しめるよう、ルールを工夫しています。ときには思い通りにいかないこともありますが、その反省を生かして考える力がついてきています。“感じて動く”その姿から、低学年や中学年の子は、次の高学年として学び、憧れをもち、より良い自分を目指しています。

地域の方にお世話になる機会もたくさんありました。中でも3年生は、壮健クラブの皆さんに教えていただきながら笠置橋近くの花壇に花を植え、きれいな花を咲かせてみえる思いについても学びました。その後、教えていただいたことを生かして、学校の花壇にも花を植えました。仲間と意見を交わし、美しい花壇を完成させました。また、やまびここども園では、今度は教える側になって、年長さんと一緒に花を植えました。一つの学習でも様々な場面で“感じて動き”、子供たちは心を豊かにしています。



花壇に花を植える3年生

夏休みは、やってみたいことにじっくり取り組んだり、家庭や地域で楽しい時間を過ごしたりできるよい機会です。どんな“感じて動く”ことが待っているのでしょうか。そしてどんな宝物ができるのでしょうか。2学期の始業式を楽しみにしています。

保護者の皆様、地域の皆様、1学期もご理解とご協力をありがとうございました。

暑さ厳しい折、皆様健康でお過ごしください。

5年生は、げんきた田んぼの稲を見守るかかしを立てたいと、姫栗の石原さんに講師をお願いし、3回にわたって思い思いのかかしを作成しました。胸の厚みや足の太さなど、自分の体と比べながら骨組みに肉付けをし、完成形を色や形を仲間と相談して工夫しました。一度ペンキで塗ったものでも、イメージと違うと塗り直す姿もありました。こうして一つの作品をつくる場合でも、心を動かし、より良いものを目指したのです。

一方、周りの人に流されないで自分で決めたことをやり抜く力も大切です。Aさんは、本をたくさん借りて読むことを目標にしていました。そこで、休み時間に仲間が外へ遊びに行きましたが、一人で図書館へ行ってお気に入りの本を借りていました。学校は集団生活ですが、自由な時間はいつも仲間と同じでなくてもよいのです。

仲間の中で、また自分の考えで、一人ひとりが豊かになっています。